

執筆要領

東洋大学PPP研究センター紀要執筆要領

東洋大学PPP研究センター紀要投稿規程（以下「投稿規程」という）に基づき、投稿論文を投稿しようとする者は、この執筆要領に従って執筆するものとする。

なお、特別論文、研究ノート及び調査報告についても、第9項を除き同様の取扱いとする。

1. 言語

記述は、原則として日本語（原則として、常用漢字、現代仮名遣い、算用数字を使用）又は英語とする。その他の言語にて執筆する場合には、用いる言語の種類などの必要事項を、予め東洋大学PPP研究センター紀要検討委員会（以下「委員会」という）に申し出ることを要する。

2. 原稿量

日本語の場合、概ね10,000字から20,000字程度（図表、注記、参考文献を含む）とし、外国語の場合は、それに相当する量とする。ただし、委員会が必要と認める場合にはこの限りでない。

3. 様式

原則としてA4横書きとし、1ページ40字×40行、フォントサイズ10.5ptで作成する。

各ページの下部中央に、ページ番号として通し番号を付す。

4. 図表

図表を使用する場合は使用順に連番を振り、挿入箇所を明記する。

（記載例）：

・・・というデータが得られた（表1）。

<表1を挿入>

これらの調査を通して明らかになったことは・・・

：

※ 表1、表2、図1、図2のように連番を振る。

※ 図表は、出所を明確に表記する。

5. 提出形式

原稿は、氏名・住所・電話番号・メールアドレスを明記した上で、郵送または電子メールで送付する。郵送の場合には、文章及び図表のファイルを保存したCD-R（2部）を送付する。

ファイル形式は、MS-Word 文書形式（.doc）またはテキスト文書形式（.txt）のいずれかとする。

<送付先>

- 郵送：東洋大学大手町サテライト

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 1階東洋大学大手町サテライト

- 電子メール：toyo-ppp-rc@googlegroups.com

6. 構成

原稿の構成は、原則として次のとおりとする。

- ①論文題名
- ②執筆者所属
- ③執筆者氏名
- ④目次
- ⑤本文及び脚注
- ⑥参考文献
- ⑦図表
- ⑧英語による論文題名、執筆者所属、執筆者氏名、英文要約

（記載例）

①論文名：○○○○
 ②所属：○○○
 ③氏名：東洋太郎
 ④目次
 はじめに
 第1章 ○○○○
 第2章 ○○○
 ：
 ⑤はじめに
 本研究は、・・・
 ：
 ・・・・については稿を改めることとしたい。 （東洋太郎）
 ⑥参考文献
 ⑦図表
 ⑧英語による論文題名、執筆者所属、執筆者氏名、英文要約
 ：

※ 項目番号は、第1章→1→(1)→①の順に振り、必要に応じて「章」の次に「節」を設ける。

7. 参考文献

参考文献は、著者の氏名の五十音順若しくはアルファベット順（同一著者の文献の場合には発表年順）に一括して表示する。

（記載方法の例）

※著書の場合
 著者名 発行年 著書題名 出版社
 ※論文の場合
 著者名 発行年 論文題名 発表雑誌（巻・号など） 出版社 論文掲載ページ

なお、本文中の扱いについては、以下の例による。

（記載例）

※単著の場合
 ・・・・佐藤（2004）によると・・・
 ・・・・とされている（佐藤、2004）。
 ※著者2名の場合
 ・・・・佐藤と田中（2004）によると・・・
 ・・・・とされている（佐藤と田中、2004）。
 ※著者3名以上の場合
 ・・・・佐藤ら（2004）によると・・・
 ・・・・とされている（佐藤ら、2004）。

8. 英文表記

論文題名、執筆者の所属・氏名について、英語にて表記するとともに、英文要約を、200words 以内で記述する。但し、英文表記については、本委員会で修正することがある。

9. 論文審査

審査に付する原稿は、投稿者の氏名を伏して査読を行う。公平な審査を行うため、審査の段階では、執筆者名と所属は査読者が識別できないようにする。本文中の表記においても、執筆者名が推定される記述を行ってはならない（掲載が決定された段階で、しかるべき記述に戻す）。

10. その他

その他、執筆に際して必要な事項は、投稿規程に定める。それらの規程に定められていない事項については、本委員会が決するところによる。